

(仮称) 国立市健康まちづくりプラン素案市民説明会実施報告書 (第1回)

担当課	健康福祉部健康まちづくり戦略室
日時	令和6年1月21日(日) 午後2時～午後3時5分
場所	国立駅前くにたち・こくぶんじ市民プラザオープンスペース
出席者	葛原地域包括ケア・健康づくり推進担当部長、橋本健康まちづくり戦略室長、村井
参加者数	9名
実施内容	1. 挨拶(葛原地域包括ケア・健康づくり推進担当部長) 2. プラン作成の経緯(橋本健康まちづくり戦略室長) 3. プラン素案説明(村井) 4. 意見交換
主な意見・市の回答	
<p>〈市内公共施設の活用や建設について〉</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・集会所や福祉会館など、予約して使えるのは知っているが、ふらっと行ってもお茶が飲める、お手洗いなど、予約しなくても気軽に使えるスペースが増えると思う。</li><li>・新しい公共施設を作る際には、下層階に集会所、上層階に住まいを作り、上層階に住む高齢者が集会所で活動したり、短時間就労できて活躍できるような仕組みができると良い。</li></ul> <p>〈認知症の方への取り組みについて〉</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・これから認知症の方が増えていく。認知症の方が安心して過ごせる見守り体制や制度など、あると思うがそのあたりをプランで触れて欲しい。 (市の回答; 誰もが、ウェルビーイングを感じられるまちづくりを目指しているので、おっしゃる通り認知症の方も支えていけるまちが必要と考えている。認知症カフェ、生活の見守りなどさまざまな活動があり関連事業として触れていきたい。)</li></ul> <p>〈市民の協力について〉</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・今回のプラン概要版も職員が作っているが、市民でも手伝える人がいると思う。広報を作るときに一緒にやっていると良い。</li></ul> <p>〈情報の発信について〉</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・情報発信をすることが目的ではなくて、伝えたい人に伝わっているのか、ホームページに載せるだけが目的にならないようにしないといけない。インセンティブや楽しみがあると情報を取りに来る人も増えるのではないかと。さまざまな情報発信について、企業など民間の力の活用も必要。</li></ul> <p>〈自治会など、地域のつながりについて〉</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・つながりをいらないと思っている人も一定数いるが、大きい災害の際には地域のつながりが必要になると思う。日頃からのつきあいが大切。</li></ul>	

- 自治会加入率が低いことは認識している。自分もマンションに引っ越してきて、昔から住んでいる人とは感覚が異なり、自治会に入っていない。入るメリットを感じられない。今時点で困っていることはない。
  - 自治会の考え方は地域差がありすぎて一概には言えず難しい。自治会と市役所の連携も取れていない部分がある。気楽に行ける場所、飲食でのつながりがあると良い。
  - 国立には文教都市としての特性があり、仲良くしない、つながりを求めない人も昔から一定数いる。
  - 長く自治会で活動をしているが、年2回の一斉清掃活動に若い世帯も参加してくれている。清掃活動は、特別な道具を使わず家にあるものを持って集合し、終わった後にレジャーシートを広げ、お茶とお菓子で一休みする。強制ではなく、自主的に行ってくれていて良い雰囲気を保っている。日頃のつながりが大切と思う。
- (市の回答；地域活動では一緒に動けるツールになるものがあると良いことが分かった。上手くいっている事例なども研究していきたい。)